

○「かわまちづくり」計画の登録箇所一覧（新規5箇所）

都県名	市町村名	水系名	河川名	計画名	事業主体	計画の概要
あきたけん 秋田県	おおだてし 大館市	よねしろがわ 米代川	よねしろがわ 米代川	ねげと ちく 根下戸地区か わまちづくり	国土交通省 大館市	大館市では、大館市都市計画マスタープランにおいて米代川を市民にレクリエーションの空間を提供し、うるおいの創出を図る場として位置づけている。根下戸地区は、小学生の環境学習の場としての利用や、地元の釣り大会での利用に加えて、近年では、自治会主体の温泉整備が行われるなど、地域活性化の意識や、河川利用に対するニーズも高い地区である。本計画では、国土交通省が河川管理用通路の整備や高水敷の整正等を行うとともに、大館市が多目的広場の整備を行うことにより、米代川を中心とした豊かな自然や大館の歴史・文化に触れ合い、地域の活性化を推進する。
やまがたけん 山形県	みかわまち 三川町	あかがわ 赤川	あかがわ 赤川	みかわまち 三川町かわま ちづくり	国土交通省 三川町	三川町では、これまでに「赤川河川緑地」を整備し、主にグラウンドゴルフなどのスポーツやレクリエーション、文化活動などの活動の場として利用している。本計画では、国土交通省が河川空間の利活用促進のための河川管理用通路、親水護岸の整備等を行うとともに、三川町が「第3次三川町総合計画」に基づき、現赤川河川緑地の面積を拡張し、防災機能や町民憩いの場・交流活動、健康増進、レクリエーションの場としての多面的な公園の整備を行うことにより、まちと連携・一体となり、地域の活性化を推進する。
ぎふけん 岐阜県	きたがたちょう 北方町	きそがわ 木曾川	いとぬきがわ 糸貫川	きたがたちょう 北方町かわま ちづくり	岐阜県 北方町	北方町では、糸貫川の高水敷を利用した公園整備が計画されており、次世代を担う子供たちの環境学習の場として、川の大切さを学び、愛着心を深め、河川美化・水質の保全の意識の高揚を図っている。本計画では、岐阜県が公園に隣接する区間に親水護岸の整備等を行うとともに、北方町が緑地公園の整備を行うことにより、憩いの場となる空間や自然と触れあう場を創出し、地域の活性化を推進する。
ひろしまけん 広島県 やまぐちけん 山口県	おおたけし 大竹市 わきちょう 和木町	おぜがわ 小瀬川	おぜがわ 小瀬川	おおたけわき 大竹和木かわ まちづくり	国土交通省 大竹市 和木町	大竹市では、「第五次大竹市総合計画」において重点的な取り組みとして「スイスイワクワク 散歩道プロジェクト」を掲げ、小瀬川沿いでは歴史的遺産や主要な見どころを散歩ルートでつなぎ、市民はもちろん、市外の人にも楽しんでもらえることをめざしている。和木町では、住民の健康増進等を目的とした健康づくり計画「健康わき21」に、両岸を周遊可能なウォーキングロード「マイナスイオンコース」を位置付けるなど、散策やウォーキング等で地域交流を行い地域活性化をめざしている。本計画では、国土交通省が河川管理用通路の整備を両岸併せて行うとともに、両市町が既存のウォーキングマップ等の更新を行うことにより、南北方向に走るJRや旧道により妨げられていた東西方向の地域間交流が解消されるだけでなく、広島・山口両県を周遊できるルートも確保されることで、地域の活性化を推進する。
みやぎけん 宮城県	えびのし えびの市	せんだいがわ 川内川	せんだいがわ 川内川	ゆだ ちく 湯田地区かわ まちづくり	国土交通省 えびの市	えびの市では、南九州の交流拠点都市を目差し、“大自然と人々が融合し、「新たな力」が躍動するまちえびの”の実現のため、主要施策として着地型観光の推進、スポーツ観光や合宿の誘致等を進めている。湯田地区周辺では、川内川に隣接する県内有数の観光拠点である南九州コココーラボトリング（株）のグリーンパークえびので年間を通じてスポーツ大会等のイベント開催や、水辺ではカヌー体験会、水生生物調査などで利用されている。更に平成25年4月にえびの市観光の情報発信基地「道の駅えびの」がオープンし、交流拠点として重要な役割を担っている。本計画では、国土交通省が河川管理用通路、親水護岸の整備や高水敷の整正等を行うとともに、えびの市が高水敷周辺の公園整備を行うことにより、高水敷の利用および水辺・水面利用時の安全性と快適性が確保され、周辺施設と連携した観光・交流拠点としての河川利活用を可能とし、地域の活性化を推進する。

○「かわまちづくり」計画の登録箇所一覧（変更1箇所）

都県名	市町村名	水系名	河川名	計画名	事業主体	計画の概要
いわてけん 岩手県	もりおかし 盛岡市	きたかみがわ 北上川	きたかみがわ 北上川 なかつがわ 中津川	もりおかし 盛岡地区かわ まちづくり	国土交通省 盛岡市	<p>盛岡市では、「盛岡市総合計画」等において観光の重要な資源と位置付けられている北上川・中津川と城下町としての歴史性を活かしたまちづくりが一体的に進められており、これまでに水辺プラザなど親水空間の整備が行われ、市街地内の水辺拠点として親しまれてきた。</p> <p>本計画では、国土交通省が河川管理用通路、親水護岸の整備や河道の整正等を行うとともに、盛岡市が中津川に隣接する盛岡城跡公園周辺の整備等を行うことにより、良好な水辺空間を創出し、地域の活性化を推進する。</p>